

道銀文化財団アーティストファイル

太子弘和展 扉 ～出会い～

パネル三枚で構成された「扉」という作品です。「人との出会い」をテーマにしたこの作品は、実はコロナ前に制作された作品でしたが、扉を開いて誰かと出会う、互いの空間を繋げコミュニケーションするという行為が今の時代にはとても大切ではないかと感じ、今回改めて展示しました。扉の小窓から覗く世界には誰との出会いが待っているのか、すこしの間立ち止まって想像を膨らませていただければ幸いです。

また、本店ロビーでは高校生達の作品「現在（いま）を見つめる眼」展を開催中です。生徒達はコロナ感染防止のため長期にわたる活動停止を余儀なくされる中、大変な思いをしながら懸命に絵筆を握り続けました。思いを込めて描いた生徒達の魂の作品をぜひご高覧願います。高校生の活動に光を当ててくださった道銀文化財団様に感謝いたします。



太子弘和 (たいし ひろかず)

画家 / 江別市在住

北海道教育大学札幌校美術工芸科専攻科修了
2021年 第107回光風会展奨励賞受賞

第8回日展入選

北海道美術協会（道展）油彩画会員

光風会（東京）油彩部門会友

北海道大麻高等学校美術科教員・美術部顧問

北海道高文連美術専門部専門委員長

2022. 2月5日(土) ～2月20日(日)

照明点灯時間 7:00～20:00 最終日は15:00まで

《お問合せ》 公益財団法人 道銀文化財団事務局 011-233-1029